

PGW 2200 ソフトスイッチ - CLIP と CLIR サポート

Document ID: 53140

Updated: 2006 年 2 月 02 日

 [PDF のダウンロード](#)

 [印刷](#)

[フィードバック](#)

関連製品

- [Cisco SC 2200 シグナリング コントローラ](#)
- [Cisco PGW 2200 ソフトスイッチ](#)
- [Signaling System 7 \(SS7 \)](#)

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[SS7 IAM メッセージでの表示ビット設定の解決](#)

[Cisco HSI の場合](#)

[Cisco PGW 2200 の場合](#)

[トランク グループ プロパティの場合](#)

[関連情報](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

概要

このドキュメントでは、H.323 ネットワークから SS7 ネットワークにコールを発信する場合に、Calling Line Identification Restriction (CLIR) サポートに Calling Line Identification Presentation (CLIP) を設定する方法について説明します。これは、コール制御 PGW 2200 ソフトスイッチのバージョン 9.4(1)以降、および Cisco HSI ソリューションに適用されます。

CLIP は発信者番号 (発信者 ID) を表示できるようにする、着信側に提供されるサービスです。ユーザの提供する発信者番号は、発信者から着信側に転送される必要があります。

CLIR は発信者番号を着信側に表示するかどうかを発信側が指定できるようにする、発信側に提供されるサービスです。これは、発信者番号の表示インジケータを許可または制限に設定します。規則によって、発信側が要求した場合は着信側に送信する前に発信者番号をネットワーク管理者

が削除する必要があります。

前提条件

要件

このドキュメントの読者は、[Cisco Media Gateway Controller ソフトウェア リリース 9 のドキュメント](#)について理解している必要があります。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco PGW 2200 ソフトウェア リリース 9.4(1) 以降
- Cisco HSI ソフトウェア 4.1 以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

SS7 IAM メッセージでの表示ビット設定の解決

局所交換機能は、提供された発信者 ID (存在する場合) に関するいくつかの基本的な決定が下された後、SS7 ネットワークで SS7 IAM メッセージを確立します。CLI が提供されていない場合、またはネットワーク CLI が必要な場合、Cisco PGW 2200 はトランクグループ単位で発信コールに CLI を提供できなくてはなりません。

コール制御モードで、次のセクションの変更を加えます。

Cisco HSI の場合

この機能は、CLI 表示およびスクリーニング インジケータが ISDN ユーザ パート (ISUP) IAM メッセージから H.323 セットアップ メッセージの Q.931 部分に渡される、およびその逆を可能にします。この機能を Cisco HSI で設定するには、次のコマンドを発行します。

```
gw mml> prov-sta::srcver="active",dstver="presentation" gw mml> prov-  
add:name=SYS_CONFIG_STATIC,ClipClirSupported=enabled gw mml> prov-  
add:name=CCPackage,A_CC_AnumDataSI=1 gw mml> prov-add:name=CCPackage,A_CC_Clir=1 gw mml> prov-  
cpy
```

Cisco HSI を再起動します。起動時またはスイッチオーバー時に読み込む必要がある、いくつかの静的変数があるため、HSI を再起動する必要があります。

注: 機能をオンにするには、要素が存在し、任意の (文字列) 値が設定されている必要があります。機能をオフにするには、要素が値なし ("") で設定されている必要があります。または、設定から要素を削除することもできます。

- オン
prov-add/ed:name=SYS_CONFIG_STATIC, ClipClirSupported=enabled
- オフ
prov-ed:name=SYS_CONFIG_STATIC, ClipClirSupported="" または
prov-dlt:name=SYS_CONFIG_STATIC, ClipClirSupported

詳細については、『[テクニカル サポート サービス リクエストのための HSI データ収集](#)』を参照してください。

Cisco PGW 2200 の場合

SS7 IAM メッセージで表示制限ビットが設定されたままである場合は、Cisco PGW 2200 のルーティング計画の情報も確認してください。ルーティング テーブルにコマンドを追加する必要がある場合は、dw 情報を確認します。これが 1 に設定されていると、常に制限された状態で発信されます。

```
numan-add:resulttable:custgrpId="dp01",name="PresEnabled",
resulttype="CG_PRES_IND",dw1="1",setname="cisco1"
```

注: dw 値の意味は、次のとおりです。

- 1: 制限
- 2: 使用不可
- 3: 許可

トランク グループ プロパティの場合

また、Cisco PGW 2200 トランク グループごとの次の設定も確認します。時分割多重 (TDM)、拡張 ISDN ユーザ パート (EISUP)、およびセッション開始プロトコル (SIP)。

出力 (これらは、Cisco PGW 2200 から前後の両方向に出ていくメッセージに適用されます) :

- [SendAddressInCgPN](#) : 0 に設定すると、この設定は無条件でアドレス桁数を削除します。0 : 発信者番号にアドレス桁数を含めません。1 : 発信者番号にアドレス桁数を含めます。
- [SuppressCLldigit](#) : 設定すると、この設定は表示インジケータが制限に設定されている場合、アドレス パラメータを削除します。
- [CgPNInclude](#) : (SIP でのみ) 表示インジケータが制限に設定されている場合、発信者番号 パラメータを削除します。

注: 詳細については、Media Gateway Controller の「[コンポーネントとプロパティ](#)」の「[表 A-62 ソフトウェア リリース 9.x のプロパティ](#)」を参照してください。

コールの着信側のバリエーションが [International Telecommunication Union \(ITU\) Q767_Base](#) で、SS7 IAM 着信メッセージのアドレスの性質 (NOA) に 000011 (未使用) が設定されている場合、A_number が見つかりません。 [ITU Q767_Base](#) は、[C.3.7 \(着信側番号\)](#) と [C.3.8 \(発信者番号\)](#) のみをサポートします。

[C.3.7 Called party number:](#)

b) [Nature of address indicator](#)

0000000	spare
0000001	, not used
0000010	, not used
0000011	national (significant) number
0000100	international number

C.3.8 Calling party number
b) Nature of address indicator
0000000 spare
0000001 , not used
0000010 , not used
0000011 , not used
0000100 international number

ここでは、0000011 が発信者番号でサポートされていないことを確認できます。

Cisco PGW 2200 Message Definition Language (MDL) トレースを実行すると、エラーとして「validation failed for RANGE or MAP」が表示されます。

```
!--- Information from the MDL trace. !--- Output suppressed. reading element  
Q767CallingPartyNumber reading field RAW 56 bits read ok reading field DATA reading field  
oddEven '1'B ok reading field cgpnoa reading field ok '0000 011'B validation failed for RANGE or  
MAP not found reading field err '0000 011'B ok
```

関連情報

- [Cisco PGW 2200 ソフトスイッチ テクニカル ノート](#)
- [Cisco シグナリング コントローラの技術文書](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)

このドキュメントは有用でしたか。 [はい いいえ](#)

フィードバックいただき、ありがとうございました。

[サポート ケースのオープン](#) ([シスコ サービス契約< ts generic='1' nval='P%1,2%%'が必要ですよ](#))。

Cisco サポート コミュニティ - 特集対話

[Cisco サポート コミュニティ](#)では、フォーラムに参加して情報交換することができます。

このドキュメントで使用されている表記法の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Updated: 2006 年 2 月 02 日

Document ID: 53140